

武蔵野大学しあわせ研究所2018フォーラム3

リーシック教授による トラウマ臨床の基本研修 エビデンス治療前後の査定とケア

2019年3月17日(日) 10:00-17:00 開催地：武蔵野大学 有明キャンパス

参加費 20,000円 定員160名 [先着申込順 定員になり次第締め切らせていただきます]

ワークショップの概要

国際的な診療ガイドラインでは、心的外傷後ストレス障害(Posttraumatic stress disorder: PTSD)への第一治療選択として、トラウマに焦点を当てた認知行動療法が推奨されています。その研修機会は本邦でも少しずつ広まってきましたが、これらの療法を導入する前段階でトラウマを負った患者にどう関わり、いかに査定をすべきか、また、エビデンス治療終了後のフォローやケアをどのようにすべきかについて学ぶ機会は非常に限られております。そこで本研修では、以下の臨床技能の習得を目指します。



トラウマを負った人との初対面でのかかわりかた
トラウマの経過を聴取する方法
CAPS-5やPCL-5を用いた症状評価の実際
患者や家族へのエビデンス治療の紹介の仕方
治療前までに患者との信頼関係を構築する接し方
エビデンス治療の終了後のアフターケアとサポート
エビデンス治療が適用できない症例への対応

パトリシア A. リーシック教授は、PTSD治療の世界的権威であり、主要な学術雑誌等に300編近くの論文を発表されています。国際トラウマティック・ストレス学会会長、米国行動認知療法学会会長、米国退役軍人局国立PTSDセンター女性の健康科学部門長、国立女性への暴力予防センター共同センター長などを歴任されています。リーシック教授が開発した認知処理療法は30年以上、世界各国で厳密な科学研究により有効性が示され、診療ガイドラインにおいてPTSDに対して推奨される治療とされています。



主催：国立精神・神経医療研究センター認知行動療法センター
共催：武蔵野大学社会連携センター、後援：武蔵野大学しあわせ研究所
平成30年度 独立行政法人 日本学術振興会 外国人研究者招へい事業(短期)

研修ポイント

本研修は、日本精神神経学会の専門医制度ポイント対象研修、及び、日本臨床心理士資格認定協会の資格更新の際のポイント対象研修として申請予定です。

申込み方法

【方法】

参加を希望される方は、下記URLからご登録をお願いいたします。

登録フォーム <http://lifelongstudy.musashino-u.ac.jp/site/course/detail/3449/>

※5営業日以内に、事務局からの返信メールが届かない場合は、送受信エラーが考えられますので、下記問い合わせ先までお尋ねください。

※申込が定員（160名）に達し次第、応募は締め切らせていただきます。



会場のご案内：武蔵野大学 有明キャンパス

〒135-8181

東京都江東区有明三丁目3番3号
有明キャンパス

りんかい線 国際展示場駅 徒歩7分
ゆりかもめ 国際展示場正門駅 徒歩6分



お問い合わせ先

武蔵野大学社会連携センター
TEL：042-468-3222

世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



告知



『トラウマへの認知処理療法：治療者のための包括手引き』

著：パトリシア・リーシック
キャンディス・マンソン
カスリーン・チャード

監修：伊藤正哉、堀越勝、国立精神・神経医療研究センター

創元社より2月刊行予定、¥5,184

2019年3月19-20日、兵庫県こころのケアセンターにて、

本書をテキストとした研修（講師：リーシック教授）を実施します。

詳しくはこちら（<https://www.sogensha.co.jp/event/cptws20190319/>）